

2017年度車いす安全整備士養成講座 開催報告

初めに

2010年10月に第1回を開始した車いす安全整備士養成講座も、2018年2月を以て、開催回数が41回に至りました。つきましては、今年度も2017年度の総括として、本開催報告を掲載いたします。

1. 2017年度開催履歴（受講者数は再試験者を含めた数）

開催回	開催日	会場	受講者数
第36回	2017年5月20日・21日	久留米リサーチパーク(福岡県)	47
第37回	2017年7月29日・30日	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター(兵庫県)	66
第38回	2017年9月23日・24日	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター(兵庫県)	65
第39回	2017年10月13日～15日	埼玉県産業技術総合センター(埼玉県)	62
第40回	2017年12月16日・17日	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター(兵庫県)	63
第41回	2018年2月17日・18日	三宮コンベンションセンター(兵庫県)	52
総計			355

2. プログラム

1日目		2日目	
	内容		内容
9:00～9:10	開校式	9:00～10:00	車いすの組立 (実技・担当講師による指導)
9:10～10:15	手動車いすの規格 (座学) 別室にて実技再試験※1	10:00～12:05	車いすの点検～調整 (実技・担当講師による指導)
10:20～12:00	車いすの機能 (座学)	12:05～13:00	昼休み
12:00～13:00	昼休み	13:00～13:50	試験勉強時間 (筆記・実技どちらでも可)
13:00～14:30	メンテナンス基礎知識と 車いすの整備概論 (座学)	13:50～14:25	筆記試験
14:45～18:20	車いすの分解 (実演・実技)	14:35～16:00	実技試験
18:30～19:00	ナイトセミナー※2 (お弁当付)	16:10～16:35	筆記自己採点
		16:35～17:00	閉校式 (修了証授与)

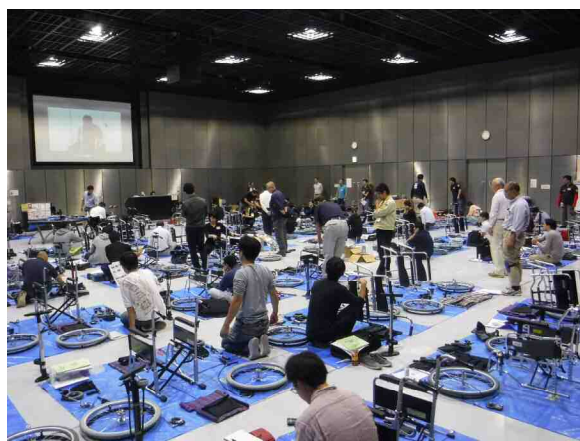
※上記は神戸開催時のプログラムであり、他開催の時はプログラムが若干異なる。

3. 講習の様子

関西開催（ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター）



関東開催（埼玉県産業技術総合センター）



九州開催（久留米リサーチパーク）



4. 参加者数・合格率

(1) 2010年～2017年 総合 参加者・合格率データ（2017年度は第36～41回）

受講回	受講者数	合格	不合格	合格率
第1回	25	21	4	84.0%
第2回	42	42	0	100.0%
第3回	32	20	12	62.5%
第4回	25	25	0	100.0%
第5回	33	26	7	78.8%
第6回	30	27	3	90.0%
第7回	22	20	2	90.9%
第8回	37	31	6	83.8%
第9回	27	18	9	66.7%
第10回	16	10	6	62.5%
第11回	38	26	12	68.4%
第12回	33	16	17	48.5%
第13回	42	33	9	78.6%
第14回	44	29	15	65.9%
第15回	41	25	16	61.0%
第16回	45	24	21	53.3%
第17回	45	30	15	66.7%
第18回	33	25	8	75.8%
第19回	35	22	13	62.9%
第20回	31	20	11	64.5%
第21回	47	28	19	59.6%
第22回	51	31	20	60.8%
第23回	51	32	19	62.7%
第24回	51	36	15	70.6%
第25回	36	23	13	63.9%
第26回	56	38	18	67.9%
第27回	54	31	23	57.4%
第28回	60	46	14	76.7%
第29回	71	50	21	70.4%
第30回	69	45	24	65.2%
第31回	39	30	9	76.9%
第32回	64	38	26	59.4%
第33回	42	25	17	59.5%
第34回	60	40	20	66.7%
第35回	62	38	24	61.3%
第36回	47	31	16	66.0%
第37回	66	46	20	69.7%
第38回	65	42	23	64.6%
第39回	62	43	19	69.4%
第40回	63	41	22	65.1%
第41回	52	36	16	69.2%
総計	1844	1260	584	68.3%

(2) 都道府県別 合格者数及び実技講師認定者数データ

エリア	都道府県	合格者数	エリア別合格者合計数	実技講師認定者数
北海道地方	北海道	18	18	
東北地方	青森県	2	80	
	岩手県	4		
	宮城県	25		2
	秋田県	5		1
	山形県	10		
	福島県	34		1
関東地方	茨城県	17	311	
	栃木県	5		
	群馬県	12		
	埼玉県	30		2
	千葉県	111		
	東京都	103		10
中部地方	神奈川県	33	159	2
	新潟県	23		
	富山県	4		
	石川県	5		
	福井県	1		
	山梨県	6		
	長野県	4		
	岐阜県	46		15
近畿地方	静岡県	12	443	
	愛知県	58		12
	三重県	9		1
	滋賀県	12		
	京都府	61		2
	大阪府	248		30
	兵庫県	89		18
中国地方	奈良県	22	68	5
	和歌山県	2		
	鳥取県	21		1
	島根県	2		
	岡山県	10		1
四国地方	広島県	26	31	
	山口県	9		
	徳島県	8		
	香川県	7		
九州地方	愛媛県	12	124	
	高知県	4		
	福岡県	45		2
	佐賀県	42		12
	長崎県	9		
	熊本県	6		
	大分県	2		
	宮崎県	1		
鹿児島県	12	2		
	沖縄県	7		
	不明	26		
総計		1260		119

※上記は受講当時のデータを集計したものです（会社一括申込の場合、本社の住所のみ反映されているものもあります）。

※不明については、アンケートのお願い等で合格後に連絡した結果、所在がわからなかった方の数です。

5. アンケート調査総合結果

(1) アンケート調査 フォーマット（スペースの関係上、枠等は外して掲載しております）

第〇回車いす安全整備士養成講座アンケート

一般社団法人日本福祉用具評価センター（JASPEC）

受講者の皆様、2日間の講習お疲れ様でした。

車椅子をはじめとする福祉用具の安全性を確保し、利用者に安全な福祉用具を安心して使用いただくことを目指す弊センターでは、流通後の福祉用具やカスタムメイド品の安全性も確保するシステムを計画しております。

今般、開催いたしました「車いす安全整備士養成講座」はその第一歩として、まずは、手動車椅子のメンテナンスを实践できる人材を養成し、車椅子の専門家として、福祉用具の安全使用に関与していただきたいと考えております。

今回の講習会が皆さまのお仕事に役立ち、車椅子について以前にも増してご興味とご関心が高まったのなら、運営主体としてうれしく思います。

今回の開催にあたり、何かと不備なところも多々あったことと存じます。この場を借りてお詫び申し上げます。

今後のことも含め、受講された皆様から率直な御意見を頂きたい、アンケートでのご協力をお願いします。

なお、ご記入いただきました個人情報に関しては、アンケート分析以外の目的では使用いたしません（本紙はデータ化した後、弊センターの情報管理基準に基づき、処理します）。いただいた一部のご意見、集計結果は弊センターHPにて公開いたしますので、予めご了承いただけますよう、お願い申し上げます（個人が特定できる内容等につきましては、一切公開いたしません）。

【以下アンケート】

(1) アンケート内容に関して、ご意見を伺う可能性がございますので、強制ではありませんが、ぜひ、お名前、ご所属(会社名)、職務内容（以下の①～⑨より選択、複数に渡る場合は主業務にあたる職務内容をご記入）のご記入にご協力ください。

【お名前 ご所属 お持ちの関連資格】

< 従事職務内容 >

① 福祉用具貸与 ② 福祉用具卸業 ③ 福祉用具メーカー ④ 自転車関係
⑤在宅医療介護 ⑥ 施設医療介護 ⑦病院医療介護 ⑧来客者用備品担当 ⑨その他()

(2) 講習会の内容について (A. 理解度と B. 満足度共に、4つの評価の中から、いずれかの番号の記入をお願いします)

A. 理解度 (①良く理解できた ②理解できた ③あまり理解できなかった ④理解できなかった)

質問項目

座学：手動車椅子の規格

実技：車椅子の分解

座学：手動車椅子の機能（基礎）

実技：車椅子の組立

座学：メンテナンスの基礎知識と整備概論

実技：車椅子の点検・調整

B. 満足度 (①大変満足できた ②満足できた ③やや不満 ④不満)

質問項目

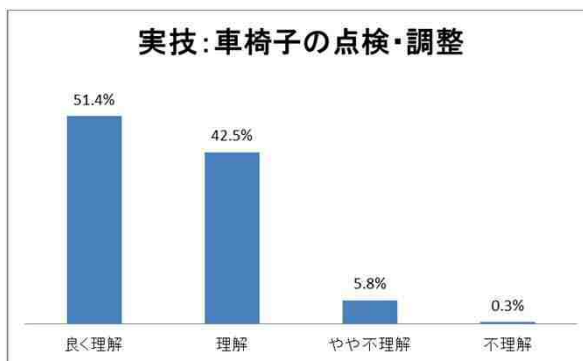
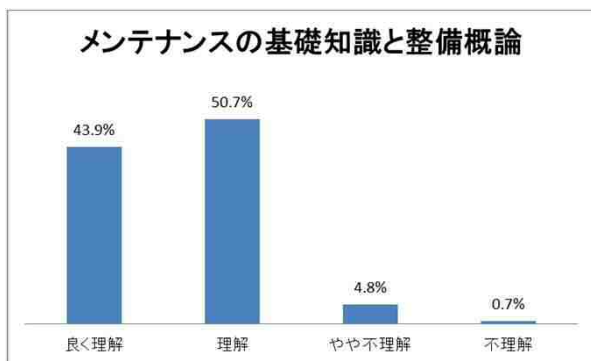
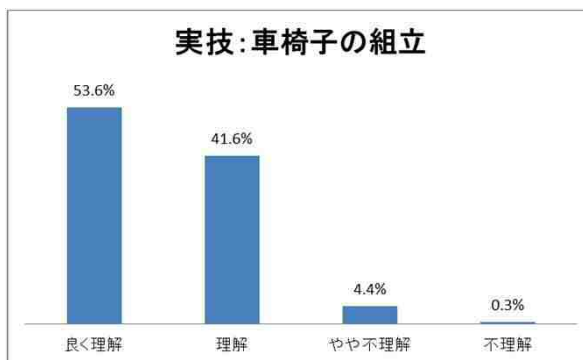
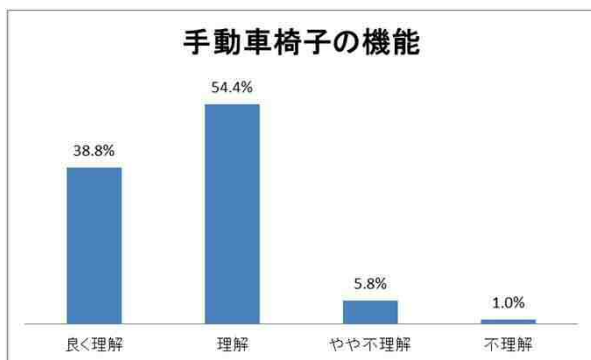
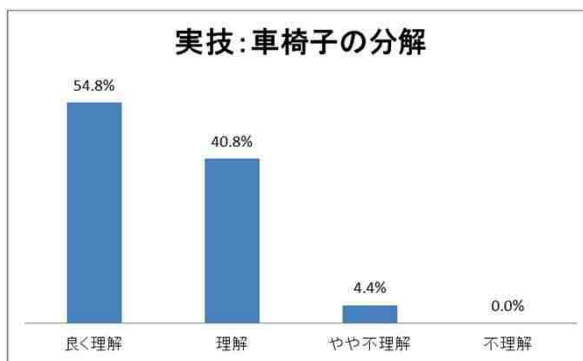
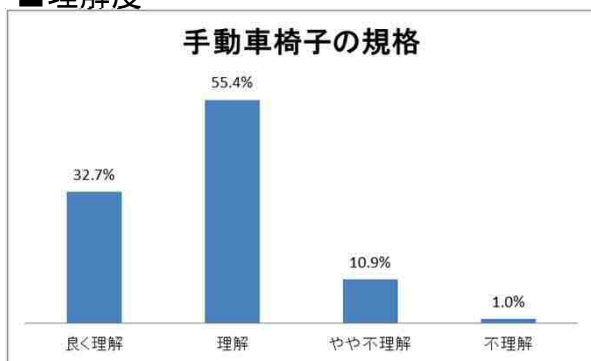
講習会全体について

(3) 上記 (2) 項全般についての御意見がございましたらご記入下さい。

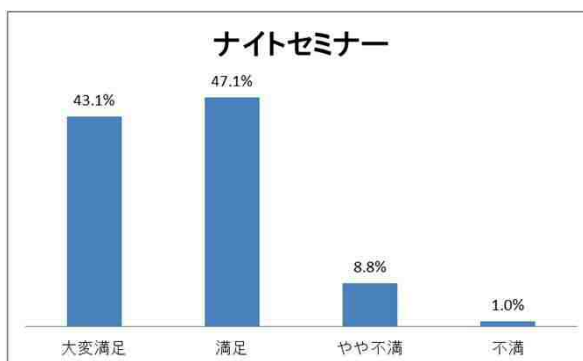
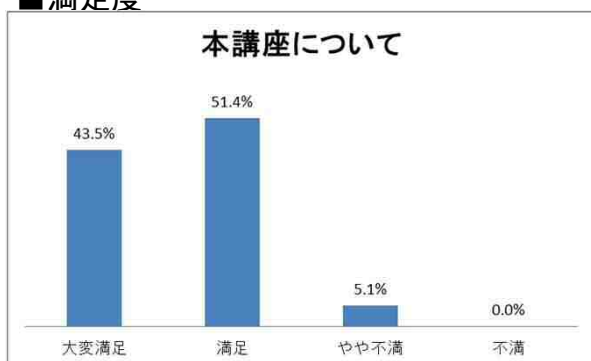
(4) その他運営上の問題点などお気づきのことがございましたら、ご記入下さい。

(2)アンケート集計結果(回答数:294)※再受講(実技のみ)・再試験者を除く

■理解度



■満足度



■職務別受講生

福祉用具貸与	110
福祉用具卸業	38
福祉用具メーカー	17
自転車関係	19
在宅医療介護	4
施設医療介護	26
病院医療介護	25
来客者用備品担当	4
その他	41

※その他の内訳:

子供服メーカー、機能訓練、福祉事業立ち上げ中、介護関連サービス、建築業、板金業、介護タクシー、事務(車椅子使用者)、理化学機器製造業、電気通信工事業、支援学校教員、自動車整備業、就労支援、印刷会社、自動車ディーラー、ホームセンター、保険業、クリーニング業、義肢装具士、ネットワーク関連、ボランティア、就労支援、小売業、自動車運転手、人材派遣業、自動車板金業、他

6. 2018 年度開催計画（現在神戸開催のみ公開中）

計画講座	開催日	開催場所	受講料（※2）	定員
第42回車いす安全整備士養成講座	2018年4月28日（土）・29日（日）	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	38,000円	60名
第43回車いす安全整備士養成講座	未定	関東での開催を予定	38,000円	未定
第44回車いす安全整備士養成講座	2018年8月18日（土）・19日（日）	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	38,000円	60名
第45回車いす安全整備士養成講座	未定	関東での開催を予定	38,000円	未定
第46回車いす安全整備士養成講座	2018年11月17日（土）・18日（日）	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	38,000円	60名
第47回車いす安全整備士養成講座	2019年2月16日（土）・17日（日）	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	38,000円	60名

※上記は変更となる可能性がございます。

※関東開催につきましては、決まり次第、HPにて掲載いたします。

7. 2017 年度総括 及び 2018 年度開催に向けて

文責：一般社団法人日本福祉用具評価センター
 管理部 係長 植松 規

前年度より車いす安全整備士認定者数が1,000名を超え、2017年度の終わりには認定者数が239名追加され、1,260名となりました。この239名と言う数字は年度認定者数としては過去最高であり、この1年間が今までで一番多く車いす安全整備士が誕生した1年間となりました。合格率としても、今までは低い時で60%を下回る時がありましたが、2017年度の推移では、64%以上～70%未満の間に落ち着いた数字となりました（2017年度平均合格率：67.5%）。

この結果から見る考察として、やはりインナーワイヤープライヤーの使用が可能になったことが、一つの要因ではないかと考えられます。この工具の使用が可能になり、「制動用ブレーキ調整の不備」という不合格理由がなくなったわけではありませんでした。しかし、技術の習得スピードに関しては、この工具を使用することで、素早く制動用ブレーキ調整ができ、その分他のことに集中できる環境が整ったのではないかと思います（今までの「ペンチを使った調整」ができることを確認したうえで、この工具の使用を認めています）。

また、2017年度に初めての試みとして、通常2日間で行っている講座を3日間にして開催した回がありました（第39回：埼玉県産業技術総合センター）。理由は会場の使用可能時間の制限によるもので、3日間開催をしなければ通常開催と同じ履修時間が確保できなかったという事情によって行った暫定措置でした。平日の金曜日も含めた開催だったため、受講生募集に心配がありましたが、結果としては定員枠が全て埋まり、養成講座についても特に問題もなく、開催を終えることができました。関東圏（特に東京都内）は2020年五輪・パラリンピック開催準備の関係で会場確保が困難であるため、2018年度も同会場にて開催する計画を立てています。

皆様ご理解のうえでご参加いただければ幸いです（まだ確定ではございませんので、ご了承ください）。

2018年度は、東北での開催を予定しておりましたが、現在の計画では開催を延期しております（東北開催は2019年度に開催できるよう、2018年度に準備を進めていく所存です）。変わりに、関東開催の2回実施を予定しておりましたが、前述したとおり、会場の確保が困難であったため、前年度と同様、関東（埼玉）、九州にて実施する予定としております。皆様、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

また、2018年度は車いす安全整備士資格をさらに社会に訴求すべく、広報活動にも力を入れていこうと考えております。これをお読みの皆様も、この資格についてご理解のうえ、機会があれば話題にしていただけると幸いです。

今後も本講座が皆様にとって有意義な時間になるよう、車いす安全整備士実行委員会を中心に、より一層、内容の吟味をしていく所存でございます。本講座をより多くの車椅子整備に携わる方並びに車椅子が身近である方々へも拡大し、世の中の車椅子をより安心・安全に利用いただける社会実現のためにも、まだ受講されたことがない方は、是非とも受講のご検討のほど、よろしくお願いいたします。

以上